

政府開発援助（ODA）による武器供与に対する申し入れ

2006 年 6 月 16 日

内閣総理大臣 小泉純一郎 殿

外務大臣 麻生太郎 殿

日本政府はインドネシア政府に対して「マラッカ海峡のテロ・海賊対策のため」に巡視船艇 3 隻を、ODA によって無償供与することを決定する、という報道がありました（読売新聞・北海道新聞 2006 年 6 月 2 日）。私たちは、以下の理由から、この決定は不適切な政策判断であると考え、計画の即時撤回を求めます。

1. 「武器輸出三原則」をふみにじるものである。

政府自身が、巡視船艇は武器であることを認めているように、今回の決定は明らかに海外への武器輸出です。確かに、政府は、2004 年に米国ミサイル防衛に関する技術協力で例外とする旨を新防衛大綱の発表に合わせた官房長官談話で、「テロ・海賊対策への支援」に関して、「今後、国際紛争等の助長を回避するという平和国家としての基本理念に照らし、個別の案件ごとに検討の上、結論を得る」という表現を盛り込み例外扱いの可能性を示唆していましたが、今回の件では、「例外」とするに当たってのきちんとした説明がありません。また、「武器輸出三原則」は、「戦力を保持しない」ことを定めた日本国憲法の根幹であり、いわば「日本の良識」であり、武器輸出の例外は歯止めがきかなくなる恐れがあり、基本的にすべきでないものと私たちは考えます。

2. 「ODA 大綱」の原則を無視する決定である。

ODA 大綱には、ODA を軍事的用途に使わないことが明記されています。また、衆議院外務委員会（1978 年）と参議院外務委員会（1981 年）でも決議され、その原則が確認されています。日本国憲法が求める「平和共存」のために ODA を使うのであって、「軍事的用途に使わない」という原則は、私たち日本に暮らす者が心から受け入れ、ごく当たり前の考えとなった日本の「平和貢献のあり方」です。2003 年に改訂された新・ODA 大綱では、「平和構築」や「テロへの対応」などの文言が入りましたが、「テロへの対応」であればどのような支援も ODA として許されるということではありません。ODA 大綱の四原則にてらして、文民機関に供与されるものであったとしても、それが実質的に「軍」を助けることになったり、紛争を助長する恐れがないか慎重な判断が求められます。きちんとした説明責任とモニタリング体制の確証がない限り、ODA による武器供与は「ODA 大綱」を無視する決定です。また、当然ですが、社会環境配慮ガイドラインなどをきちんと適用して、巡視船供与がどのような影響をもたらすかしっかりと事前にチェックされなければならないことは言うまでもありません。

3. ODA による軍事援助・軍事化を加速させる。

「治安対策」という名目で、また使用目的を限定したとしても、「武器供与」は公権力の強化を明確に意図したものです。しかし、いくつかのドナー国は、「治安対策」のためには、公権力の強化よりも、市民社会の強化を通じたガバナンス、公権力の乱用に対するチェックといった民主主義支援の観点から市民社会の支援を重視しています。また、真の「治安対策」のためには、公的機関への機材供与だけでは意味をなさず、技術協力などを通じた司法分野の改革、市民社会による監視機関の整備などが伴わなければ国家暴力の温床となってしまうことは、多くのドナーが認めていることです。これまで日本の ODA は、警察活動支援であっても、人権配慮の観点から、一定の歯止めをかけていました。ODA の供与には、明確な理念と原則がなければなりません。それをなし崩しにするような決定は、適切な政策判断とは思えません。今後、今回の決定を機に、理念も原則もないがしろにして、「テロとの闘い」を名目で、直接的武器援助のために ODA が使われるようになっていくことを強く懸念します。

4. DAC の ODA 定義に反し、貧困問題の解決に寄与しない。

国際的に見ても、今回の決定は「開発途上国の経済開発や福祉の向上に寄与することを主たるもの」を ODA とするという、開発援助委員会 (DAC) の定義に反するものです。ODA は貧困問題の解決などに使われるべきものであるというのが、援助国の共通認識です。ましてや、ますます貧富の格差が開き、温暖化など環境破壊が進み、感染症の防止対策も十分でない現代において、今回のような決定は、日本がこうした問題に対して真剣に取り組もうとしていないという誤ったメッセージを国内外に送ることになります。今、国際社会が協調して、真に貧困問題の解決に取り組むべき時であるにもかかわらず、こうした ODA 本来の目的と相容れないものに使う途を開くことは、世界第二位の援助国である日本が取るべきリーダーシップの形ではありません。

以上の理由から、私たちは、日本が武器援助を行い、ODA をそのために使うことに強く反対し、計画の即時撤回を求めます。

アジア女性資料センター

(特活) アジア太平洋資料センター

インドネシア民主化支援ネットワーク

ODA 改革ネットワーク

(特活) 関西 NGO 協議会

債務と貧困を考えるジュビリー九州

さっぽろ自由学校「遊」

(特活) 名古屋 NGO センター

(特活) 日本国際ボランティアセンター

ピースボート

ピープルズ・プラン研究所

(五十音順)

賛同団体（順不同）：

（特活）明日のカンボジアを考える会

「許すな！」憲法改悪・市民連絡会

「婚外子」差別に謝罪と賠償を求める裁判を支援する会

ATTAC ジャパン（市民のために金融取引に課税を求めるためのアソシエーション）

ATTAC 北海道

CHANCE!pono2

J-Net フェアトレードセンター

NPO 法人 AM ネット

（特活）WE21 ジャパン

アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」

アジア・フォーラム横浜

アジア平和連合ジャパン

アジア連帯講座

オルタモンド

（特活）草の根援助運動

グローバリゼーションを問う広島ネットワーク

グローバルピースキャンペーン

しないさせない戦争協力・関西ネットワーク

ジュビリー関西ネットワーク

セルフ・エティーム・リンケージ

チェチェンニュース編集室

てんみくろんの会

日本友和会（JFOR）

ノーニュース・アジアフォーラム・ジャパン

パレスチナ・オリーブ

ピース・チェーン・リアクション

ひきこもり九条の会

フィリピンのこどもたちの未来のための運動（CFFC）

プライバシーアクションさっぽろ

ボイス・オブ・ヒロシマ

ほっかいどうピースネット

みどりのテーブル

みどりのテーブル

（特活）メコン・ウォッチ

核とミサイル防衛にNO！キャンペーン

核のごみキャンペーン・中部

関西共同行動

許すな！憲法改悪・市民連絡会

憲法9条－世界へ未来へ 連絡会(9条連)

憲法を活かす市民の会・やまぐち

広島瀬戸内新聞

国賠ネットワーク

国連・憲法問題研究会

市民自治を創る会

社会市民連合

社会民主党 福島みずほ事務所

女たちの戦争と平和資料館

女性グループ翼(ウィング)

浄土宗寿光院

世界平和記念聖堂・カトリック織町教会

先住民族の 10 年市民連絡会

戦争に反対し、行動する市民の会

戦争への道を許さない女たちの会北海道

第 9 条の会・オーバー東京

長野県上水内郡信濃町立古海小学校職場会

日本カトリック正義と平和協議会

日本ネグロス・キャンペーン委員会

派兵チェック編集委員会

反差別国際運動(IMADR)

反差別国際運動日本委員会(IMADR-JC)

不戦へのネットワーク

明治大学駿台文学会

有事法制反対ピースアクション

良心的軍事費拒否の会・関西

ジュマ・ネット

斜里 9 条の会

特定非営利活動法人 草の根援助運動

グローバルピースキャンペーン

特定非営利活動法人 WE21 ジャパン

以上、69 団体

個人賛同者（順不同）：

升弘之	奥田公恵	宮古一郎	細川弘明
前田恵子	横原由紀夫	宮嶋美子	阪野智夫
Keiko Ye Myint	横地磨青	宮野由美子	笹井健匡
nichigu asangha	岡寄啓子	京野楽弥子	三輪敦子
Sugiura Chie	加賀谷いそみ	京野垂日	三澤恵子
いのうえしんぢ	加藤伊都子	橋本みゆき	山下多津子
上谷純子	加藤剛	橋本育	山岸素子
大谷勝彦	加藤宣子	橋本洋一	山口たか
勝守真知子	加藤直子	錦織順子	山崎俊二
神田浩史	加藤良太	近藤ゆり子	山田みち世
くまがいマキ	加藤和博	金井聡	山田正行
河野明佳	加納実紀代	金信明	山本みはぎ
後藤裕己	花村健一	金靖郎	山本栄子
コリン・コバヤシ	花房恵美子	栗原謙治	山本英夫
さとうしゅういち	花房吾早子	栗山次郎	山本佐枝子
高橋清貴	花房俊雄	栗田英幸	山本潤
中田健太郎	梶川彩	原由利子	山本知恵
のむらようこ	梶川凉子	古屋泰	山本由美子
フジワラトシカズ	梶野宏	古本妃留美	山本和美
蛇石郁子	葛山美砂子	戸島茂男	志賀信夫
安楽知子	乾言子	吾郷健二	志賀文哉
安部宝根	甘糟智子	弘田しずえ	志茂美栄子
伊従直子	丸橋奈穂子	甲斐さおり	寺田華恵
伊達 純	岸田知之	高原幸子	寺尾光身
伊藤朝日太郎	岸本正人	高城由香里	七尾寿子
伊豆ハルミ	岩橋百合	高杉和義	篠崎美也子
井形和正	岩崎美枝子	高瀬喜与江	篠田耕児
井坂勝則	岩瀬ひさみ	高田道子	柴崎温子
井坂泰成	岩川保久	国富建治	手島武雅
井上澄夫	岩畑正行	黒田秀之	重田園江
磯貝治良	宜保幸男	今井孝子	重田裕子
羽生のり子	吉池俊子	今大地はるみ	緒方朋恵
浦川奈央美	吉田栄治	紺野茂樹	升弘之
越田清和	久松重光	佐藤雅一	小笠原公子
遠藤恵子	久保あつこ	佐藤大介	小阪仁美
塩沢加奈子	宮下奈津子	佐藤明子	小寺盛夫

小沼稜子	清水澄子	大谷康夫	田中優
小杉はま子	清水祐子	大竹香奈子	渡部鋭幸
小川光子	生方卓	大嶋薫	土井桂子
小倉利丸	西島和	大道魯参	土屋郁子
小幡詩子	西尾馨	大畑豊	土屋聡
小野直子	西文子	大野萌子	土屋翼
小野島照子	青井眞吾	大野和興	土橋博子
小林純子	青山薫	滝澤貢	土橋裕幸
小林伸子	青木裕一	谷合裕子	島田美智子
小林洋子	青柳行信	谷川正彦	東 龍夫
小林葉子	石井摩耶子	池田佳代	東本高志
松宮光興	石下直子	池田忠久	東龍夫
松崎百合子	石原 俊	竹ノ内研司	藤岡惇
松田一樹	石川薫	竹下美穂	藤本伸樹
松平隆史	石川治子	竹原陽子	藤林泰
松本尚子	石田玲子	竹林伸幸	豆多敏紀
松本真紀子	赤岩聰	中原道子	鴫田昭裕
沼田哲	千葉智恵子	中森圭子	徳武篤子
上西創造	川井 満	中西綾子	内山綾子
上野良治	川井孝子	中川義裕	内富一
新井克己	川井満	中田妙佳	入井真一
新井治	川口創	長瀬理英	波田埜雅子
新居弥生	川嶋京子	長南博邦	白岩佳子
新八子	浅田明	勅使川原香世子	白久弘達
新保淳乃	前田圭子	津村幸子	箱山富美子
森原秀樹	前田恵子	鶴田雅英	箱田徹
森崎竜一	倉戸ミカ	鶴野陽子	畠山照子
森瀧春子	相原太郎	定松文	八木孝三
森田麻里子	相内勝也	天野文子	飯島薫
森理恵	増田千代子	天野理	彦坂諦
須賀祥枝	増田博光	田村祐子	浜口克己
水垣奈津子	村田泰美	田中伸尚	普川容子
杉原浩司	太田久眞	田中仁美	福井昌子
杉山百合子	太田昌国	田中泉	福田秀志
杉本 隆也	大河内秀人	田中直子	福島みずほ
杉本久美枝	大橋正明	田中徹男	平山良平
成澤彰男	大倉弥生	田中美津	平志朗
清水さつき	大村和子	田中靖枝	平島禎子

平野恵子	西尾馨
平野将人	トム・エスキルセン
片岡謁也	上田恵子
豊田幸治	
豊島幸一郎	以上 338 名
本河知明	
本山央子	
末木あさ子	
毛利昭義	
木村まり	
木村雅夫	
木村厚子	
木村昭子	
木村太郎	
野口千恵子	
野上恵子	
野村健	
野村修身	
野村保子	
野々垣真美	
矢嶋宰	
矢野まなみ	
矢野周治	
林英樹	
林田真人	
鈴木香織	
鈴木道昭	
鈴木美代子	
鈴木励滋	
和田隆子	
姜咲知子	
廣瀬栄	
彌吉洋子	
攝津正	
濱口喬香子	
齊藤誠	
関優美	
谷口恭子	
宇田川順子	